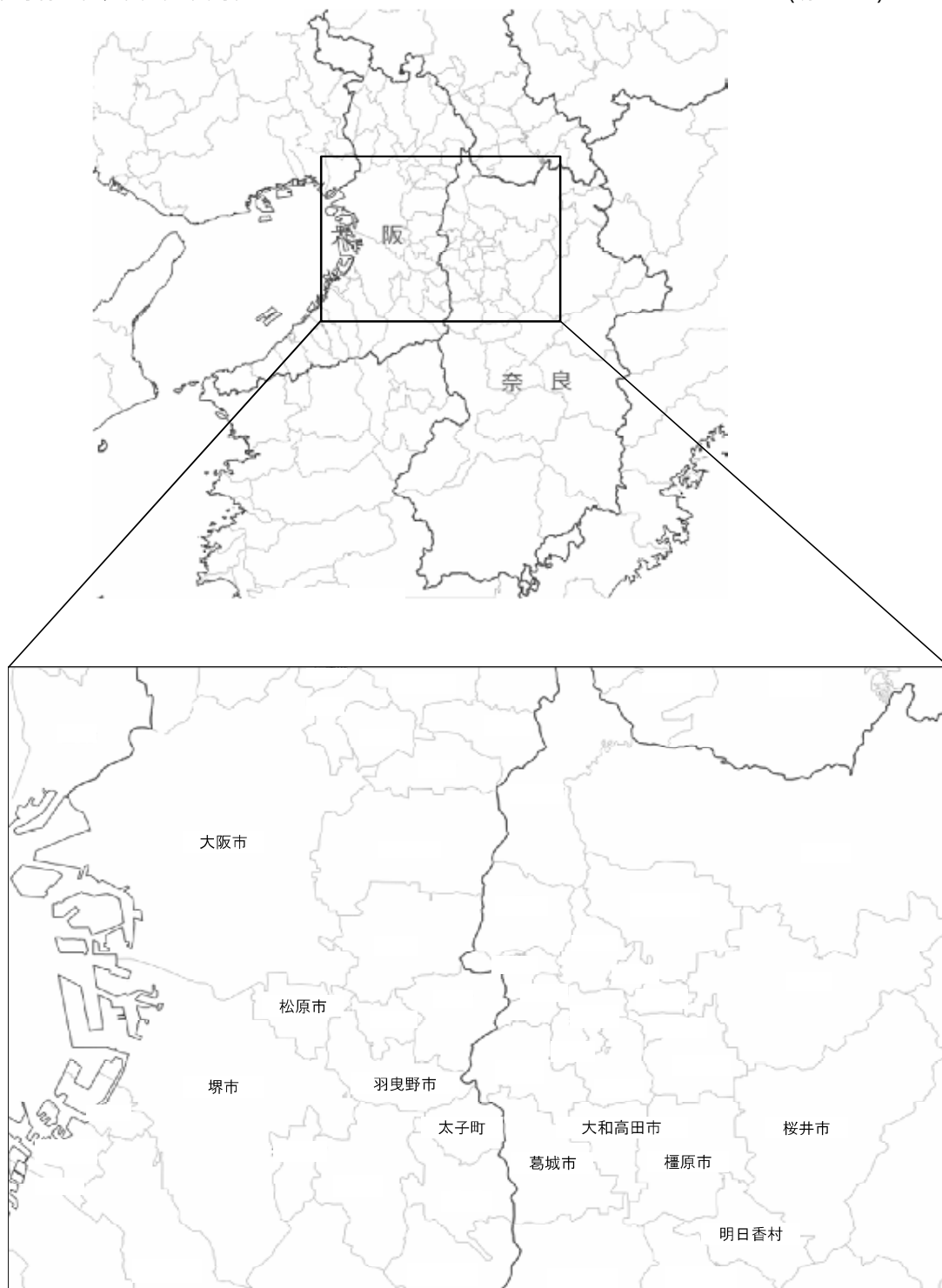


① 申請者	◎大阪府（大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町）、 奈良県（葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市、明日香村）	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
1400 年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路（大道）～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
春分と秋分の日、太陽は三輪山から昇り、二上山を超えて大阪湾に沈む。このことから、推古天皇 21 年（613 年）に東西の直線で敷設された幅 20m を越える大道（竹内街道・横大路）は、太陽の道と言われる。 古代には、大陸からの使節団が難波宮から飛鳥京を訪れ、先進技術や仏教文化を伝えた。中世には経済都市を結び、近世には伊勢参りの宿場町としての賑わいを見せ、場所ごとに様々な表情を浮かべる。 1400 年の歴史の移り変わりを周辺の歴史遺産を通して感じさせる日本最古の国道。それが竹内街道・横大路(大道)なのである。			

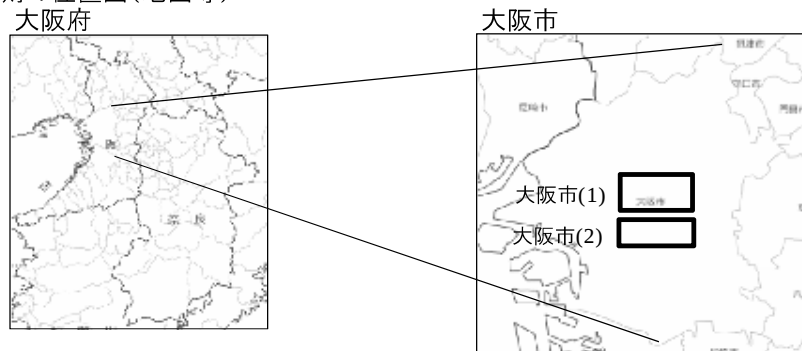
市町村の位置図（地図等）

(様式1-2)

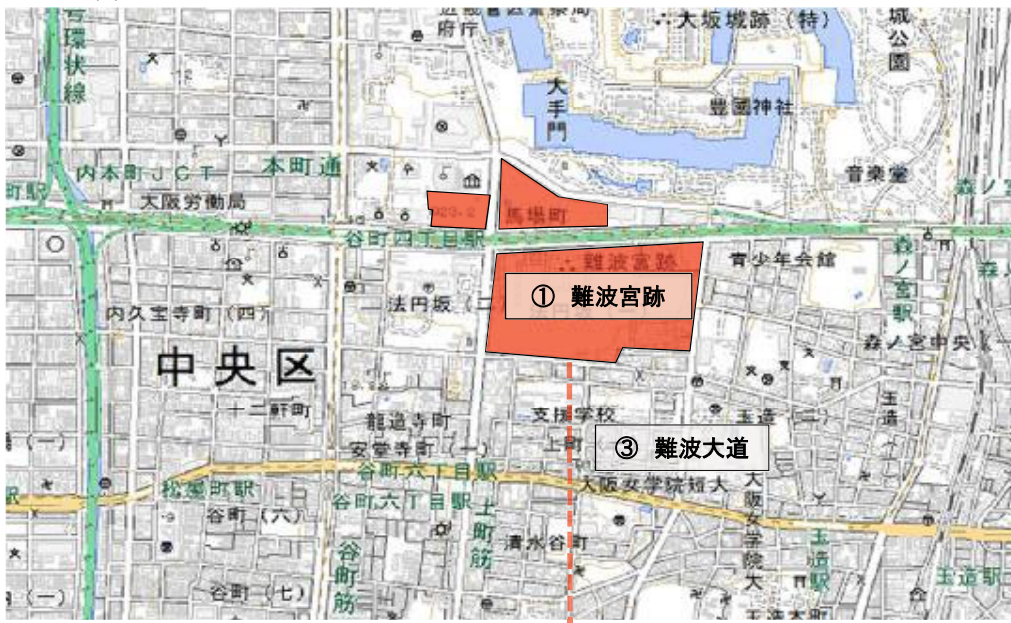


構成文化財の位置図(地図等)

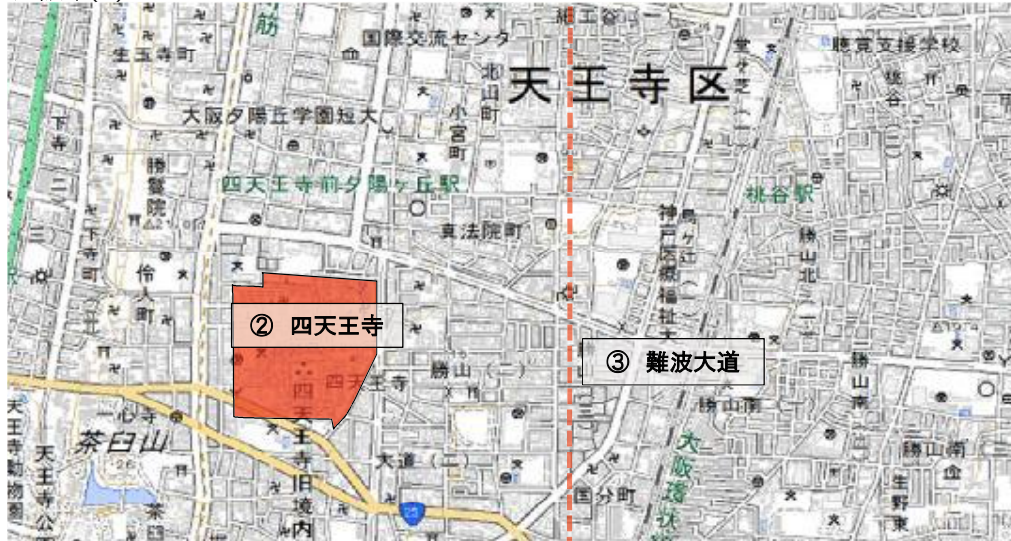
(様式1-2)



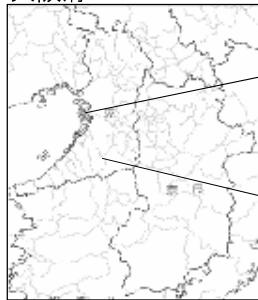
大阪市(1)



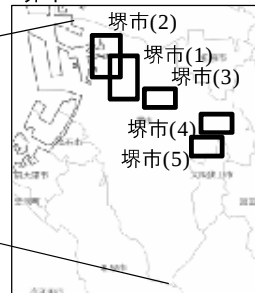
大阪市(2)



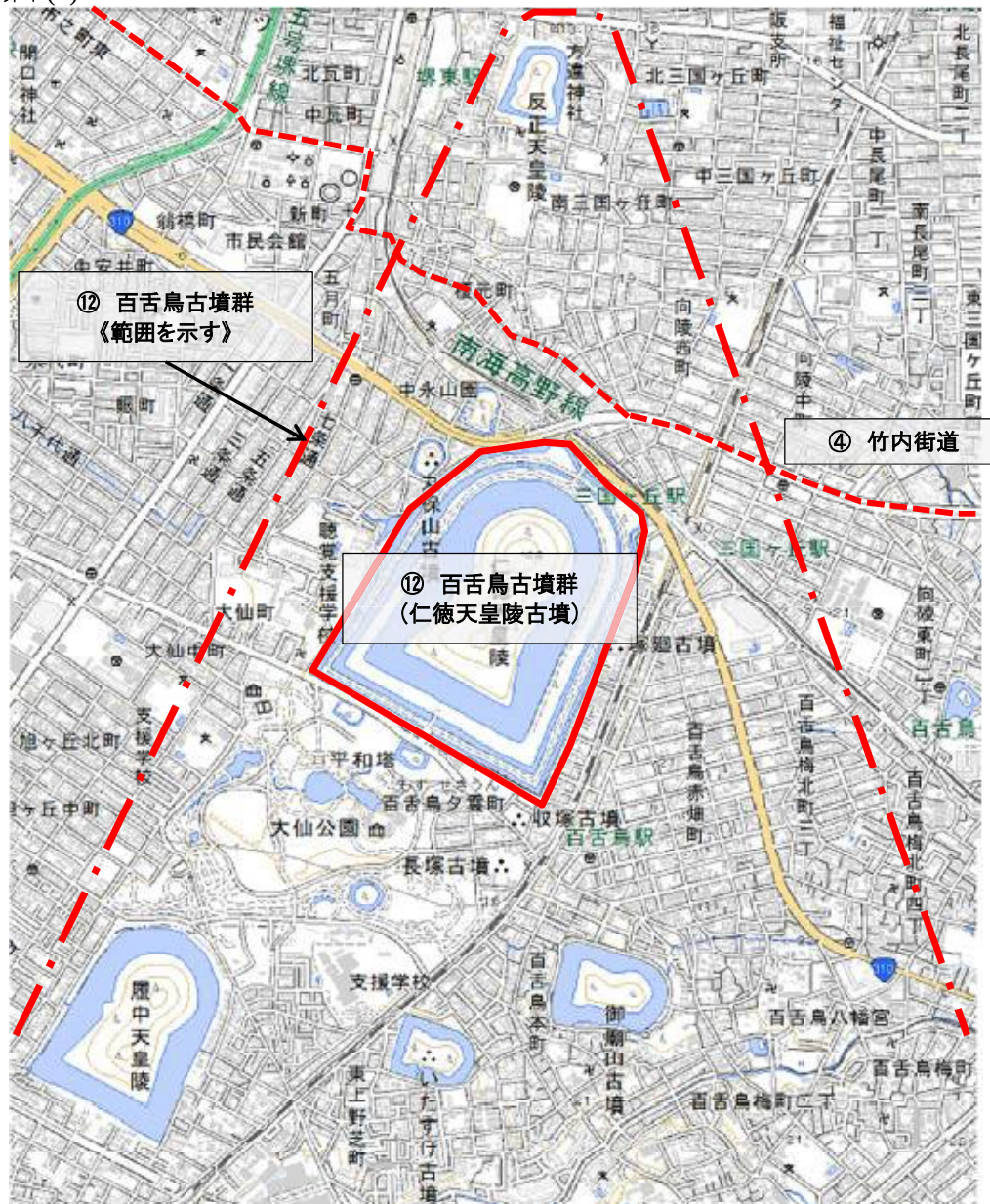
大阪府



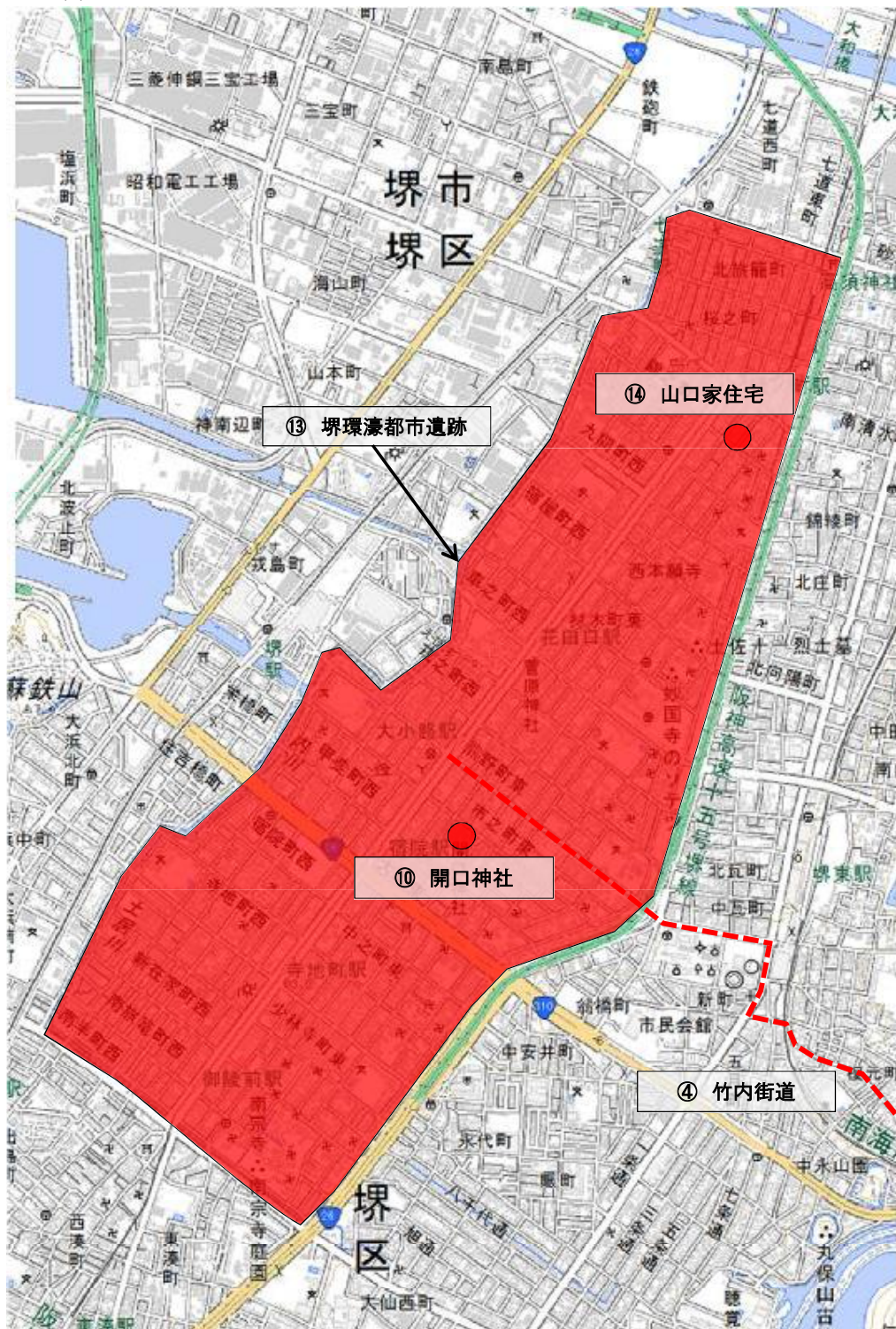
堺市



堺市(1)



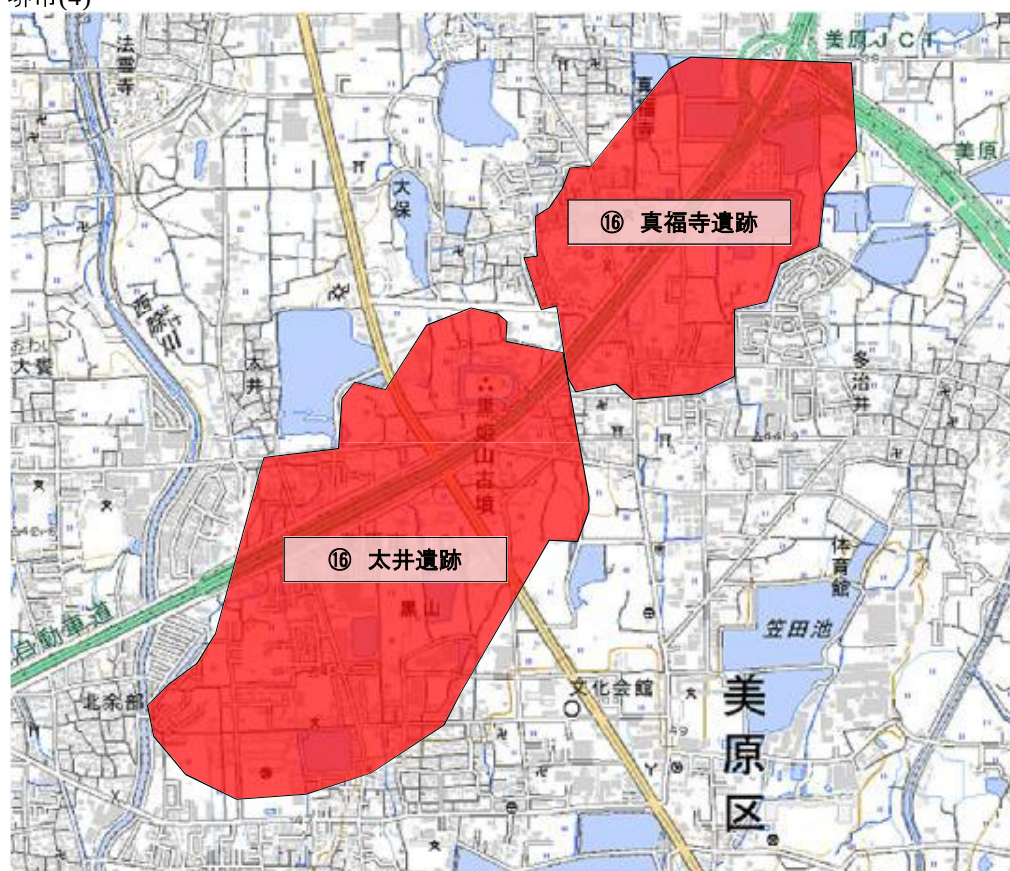
堺市(2)



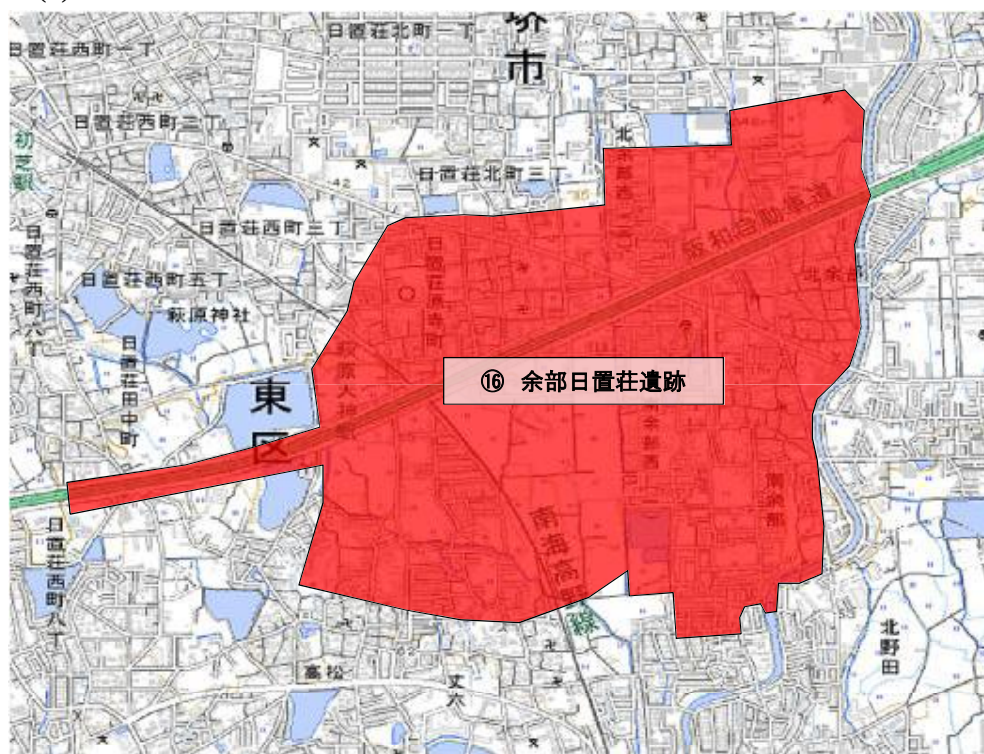
堺市(3)



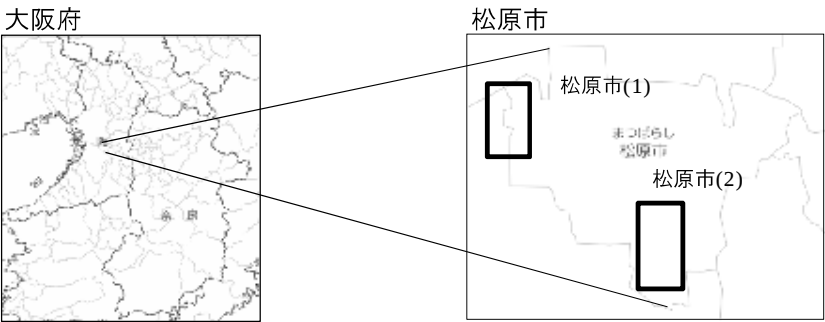
堺市(4)



堺市(5)



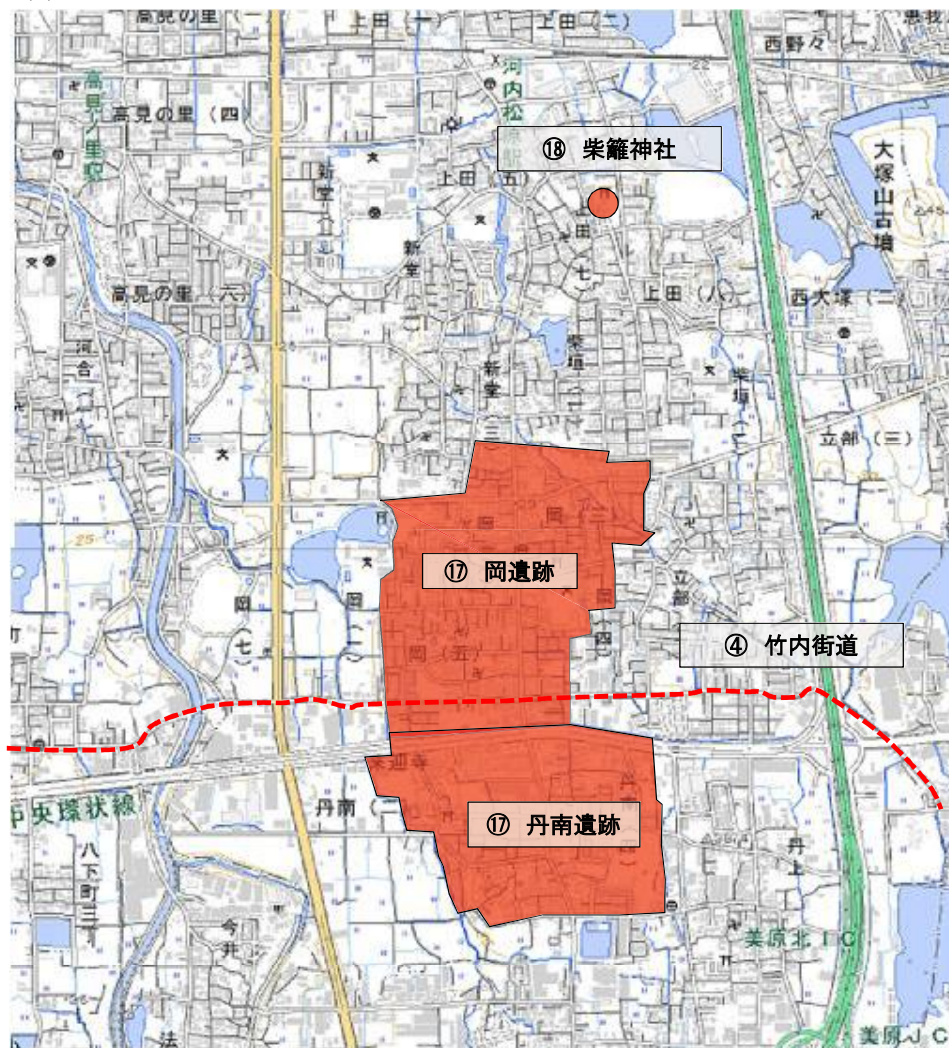
(様式1-2)



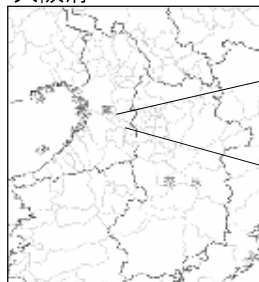
松原市(1)



松原市(2)



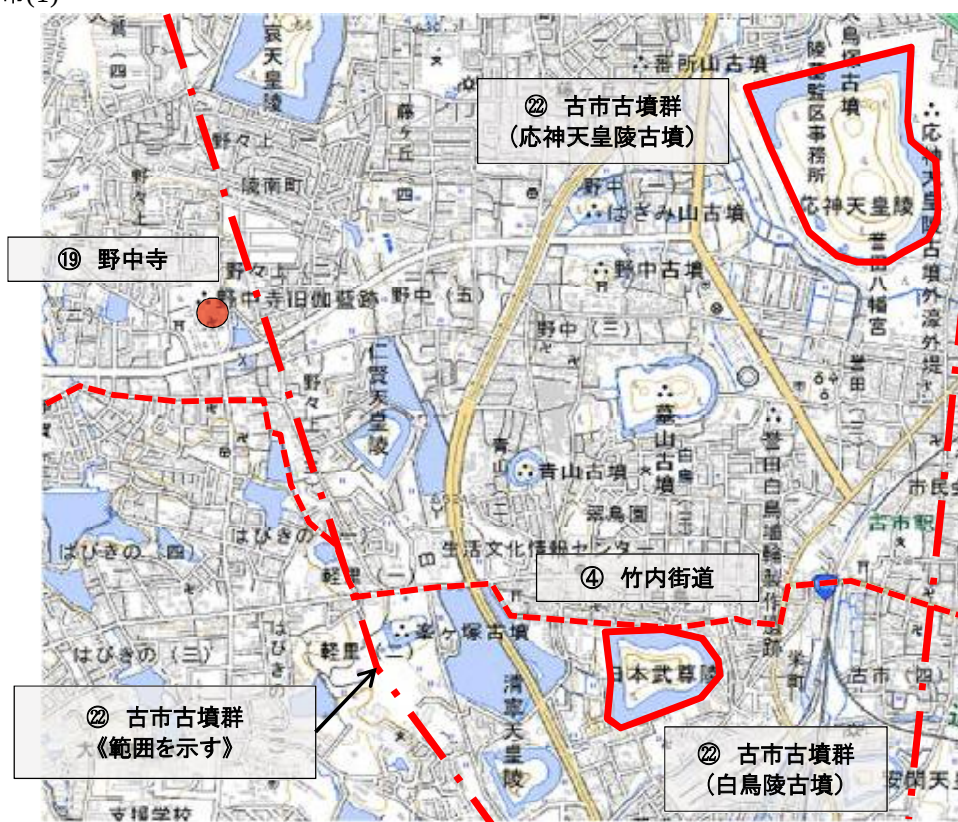
大阪府



羽曳野市



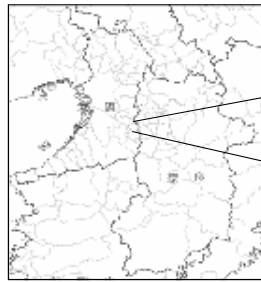
羽曳野市(1)



羽曳野市(2)

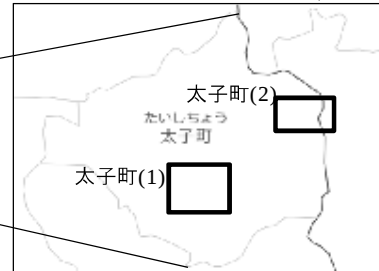


大阪府

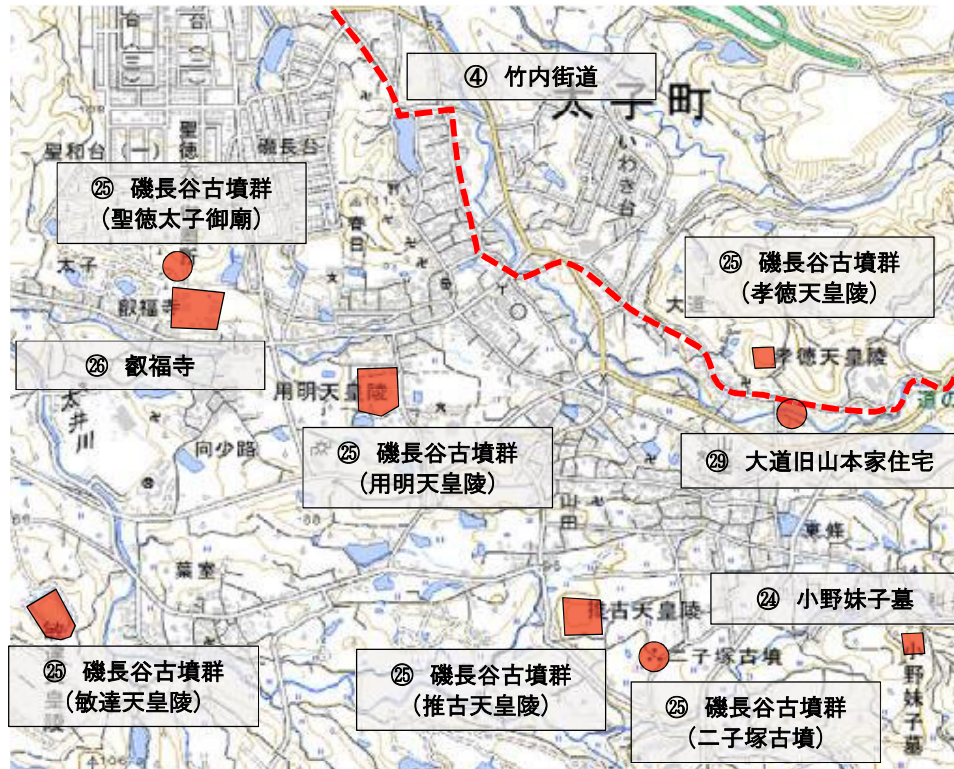


太子町

(様式1-2)



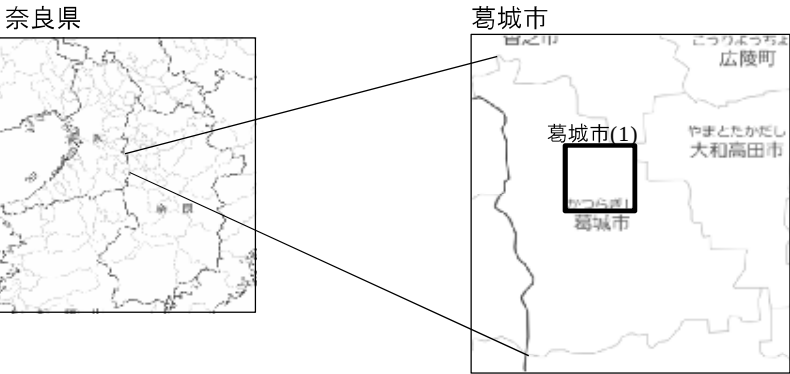
太子町(1)



太子町(2)



(様式1-2)



葛城市(1)



奈良県

大和高田市

大和高田市(1)

大和高田市

大和高田市(2)

③⑤ 専立寺・寺内町

④② 不動院(大日堂)

④① 長谷本寺

③⑥ 太神宮の高燈籠

⑤ 横大路

④④ 龍王宮

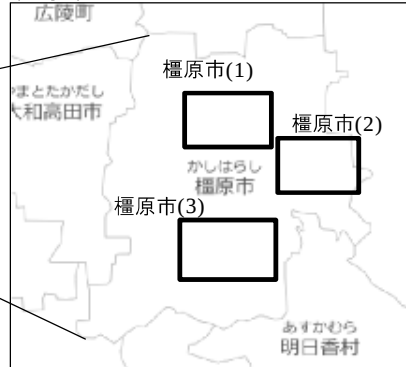
高田市駅

(様式1-2)

奈良県



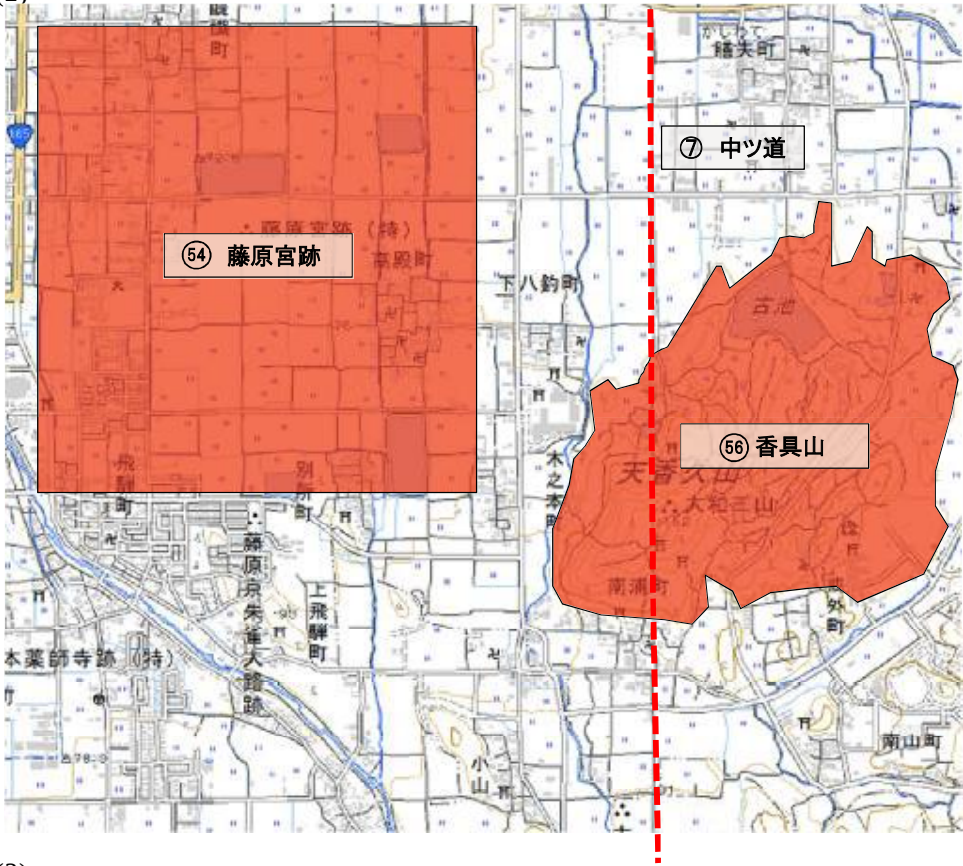
橿原市



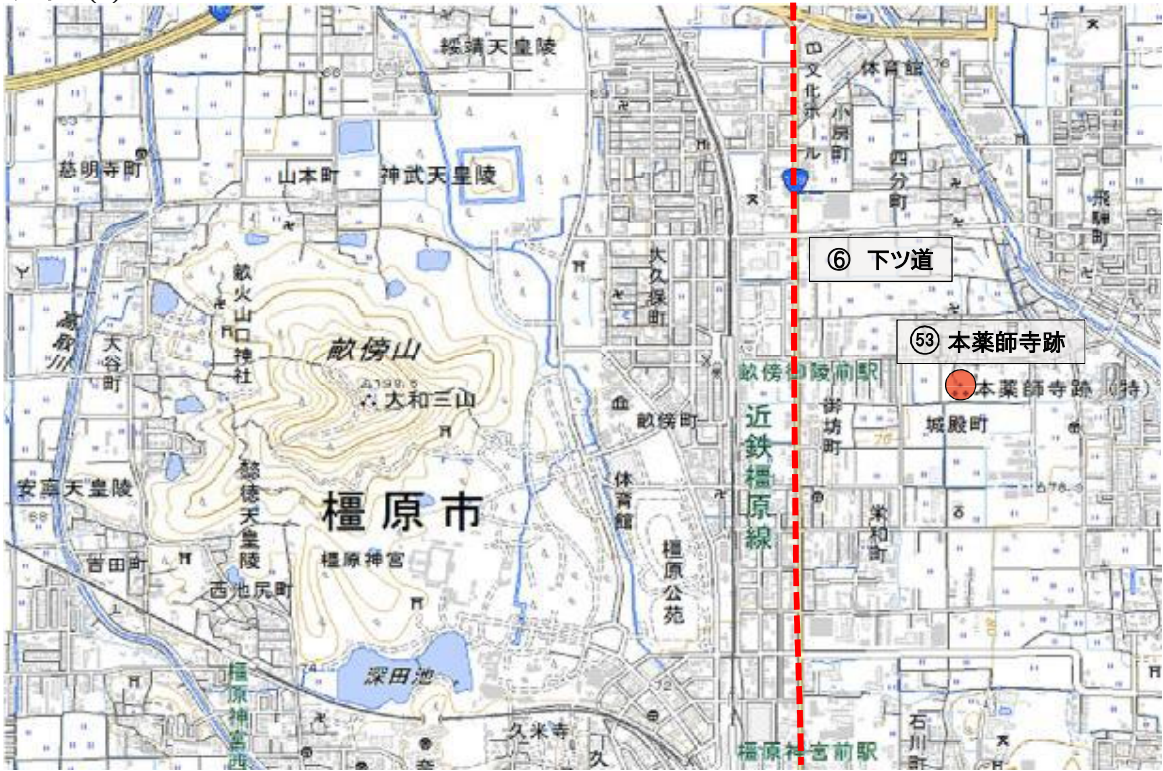
橿原市(1)



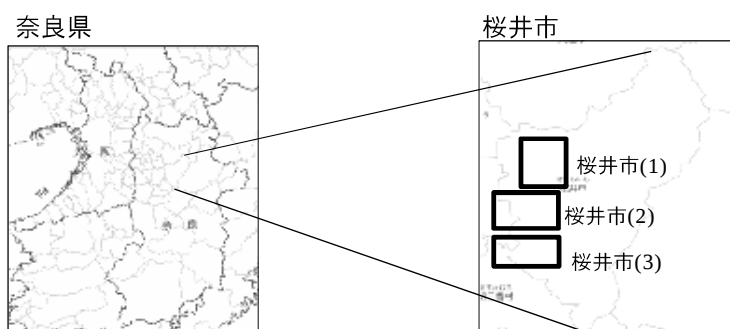
檀原市(2)



檀原市(3)



(様式1-2)



桜井市(1)



桜井市(2)

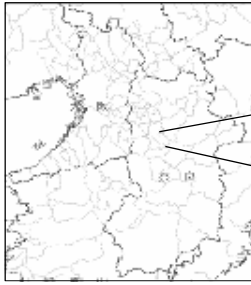


桜井市(3)



(様式1-2)

奈良県



明日香村



明日香村(1)



ストーリー

プロlogue ～『太陽の道・龍の道』～



三輪山から昇る朝日

春分と秋分の日^にの年二回、太陽は三輪山^{みわやま}の山頂に昇り、二上山^{にじょうざん}を越えて、大阪湾に沈む。太陽の軌道が、三輪山と二上山を直線で結び「太陽の道」となる。そして、その道はいつの日か三輪山の大神神社^{おほみわ}を頭、二上山の長尾神社^{ながお}を尾とする「龍の道」になぞらえられるようになった。古代の王権は、この東西の道に沿うように、三輪山のふもとから百舌鳥野^{もすの}にかけて大王墓^みとしての巨大な前方後円墳を中心とする大小の古墳からなる古墳

群を築いた。葺石^{ふし}と土製の埴輪^{はにわ}で飾られ、白く輝いていた古墳は、時を経て緑の木々に覆われた山に姿を変えた。街道沿いの白鳥陵古墳^{はくちょうりょうこふん}は水をたたえた濠に古墳の緑が映えて美しく、道ゆく人々を楽しませる。竹内街道^{たけのうち}・横大路^{よこおおじ}（大道）はまさにこの地に築かれ、常に歴史の舞台を見つめてきた。



白鳥陵古墳

◆「国道」の誕生 『難波より京に至るまでに大道を置く』

竹内街道・横大路（大道）は推古天皇 21 年（613）に外交の玄関口である難波津^{なにわつ}と政治の中心である飛鳥・小墾田宮^{おはりだのみや}をむすぶ「大道」として整備された総延長 40 km にもおよぶ我が国最古の国道である。

大道は難波京朱雀大路よりまっすぐ南下する難波大道、堺から河内を抜ける竹内街道、さらには奈良盆地を東西に走る横大路から飛鳥にいたる上・中・下の三つの道から構成される。

その後、この道を基準にして藤原京も造営され、今もなお東西南北の地割として残る。なかでも橿原市八木町では、古代と同じ 24m の道幅で道路が敷かれているため、当時の道の大きさを今も実感できる。

この道を通して中国や朝鮮半島からの外交使節、遣隋使・遣唐使によって多くの文物がもたらされた。それとともに仏教が伝来し、聖徳太子らによって多くの仏教寺院が道沿いに建立された。

野中寺や西琳寺^{さいりんじ}では、飛鳥時代の塔跡^{きだん}の基壇や礎石^{そせき}を見ることができる。

聖徳太子ゆかりの四天王寺^{してんのうじ}や叡福寺^{えいふくじ}では、広大な寺域に荘厳な伽藍^{がらん}があり、當麻寺^{たいまでら}では、日本に唯一現存する天平時代の双塔式伽藍を拝観できる。



四天王寺



當麻寺 練供養会式

さらにこれらの寺院では、古式ゆかしい祭事が一年を通じて催されている。

その代表的なものは四天王寺で行われる聖霊会^{しょうりょうえ}の舞楽^{ぶがく}や當麻寺で行われる練供養会式^{ねりくようえしき}があり、古代の雰囲気^{ねりくようえしき}を体感できる。

古代を感じることができるもう一つの舞台は、大阪と奈良の境にある二上山を越える太子町から葛城市までの道中である。岩屋峠はサヌカイトや凝灰岩の産地として知られており、日本では珍しい石窟寺院である、鹿谷寺と岩屋窟がひっそりと建つ。また二上山の麓の太子町は、敏達天皇^{びだつ}、用明天皇^{ようめい}、推古天皇^{すいこ}、孝徳天皇^{こうとく}、そして聖徳太子^{まつ}が祀られており、王陵の谷とも呼ばれる。さらにこの地は古来河内飛鳥・近つ飛鳥とも言われ、大和の飛鳥から飛鳥人が往来した道でもある。



推古天皇陵古墳

日本の国家としての歩みは、この大道から始まり、我々はその歴史的な証^{あかし}を目にすることができる。

◆「経済の道」～海の堺・陸の今井～

脈々と受け継がれてきたこの大道は、時代が下り中世になると、町々を結び物資を運ぶ街道となった。なかでも街道の西端の堺と東端の今井町は、中世における我が国の経済を牽引する二大都市となる。

堺は室町時代に南蛮貿易や日明貿易の港湾都市として大きな経済力を持った。大阪湾に向かって開いた町は、残りの三方に深い濠をめぐらし、自治都市「堺」を築いた。フランシスコ・ザビエルをはじめとする多くのキリスト教宣教師たちがこの地を訪れ、ルイス・フロイスには「日本のヴェニス」とまで言わしめた。また堺は金属鑄造技術の拠点としても名をはせた。竹内街道と中高野街道の交差する付近(旧河内国八上郡、丹南郡)には、「河内鑄物師^{かわちの もじ}」とよばれる技術者がおり、鎌倉時代には東大寺の大仏の修復や鎌倉大仏の鑄造に関わった。戦国時代から江戸時代には、堺では鉄砲や

刀が生産され、現在、包丁をはじめとする堺刃物に伝わったともされており、世界的にも有名である。今でも鉄砲鍛冶屋敷や江戸時代の町家残り、打刃物を鍛える音が響く。さらに利休が堺から広めた「茶の湯」文化の影響が今も随所に残り、老舗の和菓子店が街歩きの楽しみにアクセントを添えてくれる。



堺市の鍛冶職人



堺市の茶の湯体験

街道沿いには、一向宗本願寺の進出によりいくつかの寺内町が形成された。中でも今井町は、戦国時代に称念寺の寺内町となり、堺同様に、堀に囲まれた自治都市が築かれた。織田信長に抵抗を続けていたが、その後、降伏し、明智光秀や堺の豪商の仲介を経て和解すると、信長によって自治権が与えられ、大和の経済の中心地へと成長した。

このように両町は東南アジア諸国との交易等を通して密接に結びつき、「海の堺、陸の今井」として、戦国時代～江戸初期の日本経済を築き上げた。



堺まつり



今井町の町並み

◆「信仰の道」～伊勢参り～

江戸時代になると、街道は大阪と奈良から伊勢へと繋ぐ伊勢神宮参拝の「お蔭参り」の道へとその役割を変化させていった。今でも太子から葛城にいたる道中には、その要所にお参りのための神社や伊勢への道しるべとなる灯籠、道標が残り、かつてこの街が旅籠や茶屋で賑わっていた面影を残す。また八木札の辻や今井町は、今も江戸時代の町並みを残し、約500棟の伝統的建造物が並ぶ。街なかでは、古民家を活用した宿泊施設やカフェなどが、旅人に憩いを与えてくれる。



春の観福寺

このように江戸時代以降、この街道は庶民の信仰の道として賑わい、人々のさまざまな想いを運ぶ役割を果たしていたのだ。



太子町の町並み



冬の今井町

エピローグ

かつて聖徳太子は隋の皇帝煬帝に宛てて「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。」と書いた国書を小野妹子に託した。飛鳥の都から難波を経て遣隋使を送り、また、大陸からの使者を迎えたこの道は、脈々と流れる歴史の中で様々な「人」「物」「文化」が行き交い、時代に応じて少しずつその役割を変えつつも今も生き続ける。

道沿いの歴史遺産を通して 1400 年もの歴史の移り変わりを感じ、私たちを時間旅行へと誘う道。それが竹内街道と横大路なのである。



二上山へ沈む夕日



(様式2)

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	なにわのみやあと 難波宮跡	国指定史跡	大化改新にともなう難波遷都以来約 150 年間、難波宮は日本の古代史上に大きな役割を果たした。外交の窓口である難波津と飛鳥京を結ぶ道の起点となる。	大阪府大阪市
②	してんのうじ 四天王寺	国指定重要文化財(六時堂、本坊西通用門、本坊方丈、五智光院、元三大師堂、石舞台、鳥居) 国指定史跡	難波宮から真っ直ぐ南に伸びる難波京朱雀大路の西側に、聖徳太子により創建された。飛鳥寺と並びわが国最古の仏教寺院であり、難波に上陸し飛鳥京に向かう大陸からの使者が最初に見ることになる古代寺院。	大阪府大阪市
③	なにわきょうすざくおおじ 難波京朱雀大路・ なにわだいでう 難波大道	未指定	「難波京朱雀大路(なにわきょうすざくおおじ)・難波大道(なにわだいでう)」は、大阪市中央区・天王寺区に広がる難波京のメインストリートである朱雀大路と、さらに南に延びて堺市の金岡神社に至り、竹内街道と交差する直線道路である。大阪市天王寺区には「大道」、竹内街道との交差点である堺市金岡町の金岡神社東側には「大道町」の地名が残る。	大阪府大阪市、 大阪府堺市、 大阪府松原市
④	たけのうちかいどう 竹内街道	未指定	竹内街道は、堺市の大小路から奈良県葛城市の長尾神社に至る全長約 30 km の街道である。難波の港に着いた最新の文化や技術もこの道を通って飛鳥へ運ばれた。長尾神社から東側は、奈良盆地を東西に横切る横大路とつながる。	大阪府堺市、 大阪府松原市、 大阪府羽曳野市、 大阪府 南河内郡太子町、 奈良県葛城市

⑤	よこおおじ 横大路	未指定	奈良盆地を真東西に結ぶ道。難波から飛鳥京、藤原京などを結ぶ古代の官道をもとにし近世には、大阪や西日本各地から渡辺津で船を降りた人の伊勢参りへの道として賑わう。大阪と大和国との商業流通の生活の道でもあり、大阪側では、竹内街道につながり、奈良盆地南部を東西に一直線に結んで初瀬街道に通じる。	奈良県葛城市、 奈良県大和高田市、 奈良県橿原市、 奈良県桜井市
⑥	しもつみち 下ツ道	未指定	奈良盆地を南北に貫く古代の官道。道の南端は丸山古墳の北側で、札の辻で横大路と交差し、平城京羅城門があったとされる大和郡山市観音寺に至る。	奈良県橿原市
⑦	なかつみち 中ツ道	未指定	奈良盆地を南北に貫く古代の官道で、下ツ道と上ツ道の間位置する。672年の壬申の乱の時、大和の戦場として「将軍が本営の飛鳥に帰ると、東国からの本隊の軍が続々やってきた。そこで、軍を分けて、それぞれ上道・中道・下道にあてて配備した。」という記述があることから、この時には、できていたと考えることができる。	奈良県橿原市
⑧	かみつみち 上ツ道	未指定	奈良盆地の東縁を南北に貫く古代の官道。桜井市街地付近で横大路と交差し、壬申の乱の戦場となった箸墓古墳の東側を通り、天理市へと続いている。その一部は中世以降に長谷・伊勢方面への参詣道となり、現在もその痕跡をとどめている。	奈良県桜井市
⑨	やまだみち 山田道	未指定	5・6世紀の宮の所在地であった磐余（いわれ）から南下して飛鳥を通過し、下ツ道の軽の衢へといたる古代の道。平安時代の説話集『日本霊異記（りょういき）』の雄略天皇の時代の記述に「阿倍山田の前の道」が登場する。	奈良県桜井市、 奈良県高市郡 明日香村

⑩	あぐちじんじゃ 開口神社	重要文化財 (大寺縁起) (伏見天皇宸翰 御歌集) 府指定有形文化 財(開口文書)	中世の自治都市堺の南荘にあり、竹内街道の起点となる大小路からすぐ東側にある。武野紹鷗(たけのじょうおう)、千利休らの茶人や会合衆の寄進によって、修復がなされており、堺の中心的な氏神である。また、行基が境内に念仏寺を建立し、空海が宝塔を建てたので「大寺(おおてら)さん」とも呼ばれている。	大阪府堺市
⑪	かなおかじんじゃ 金岡神社	未指定	難波大道と竹内街道の交差点にあり、古くは住吉大神を祀っていたが、この後平安時代の宮廷画家でやまと絵の祖といわれる巨勢(こせ)金岡を合祀してから現在の名称に変わっている。神社の南を進むと道幅 3.5mの沿道に白壁の蔵や古い町家が並ぶ一画に出るが、この付近は「大道町」の地名を残している。	大阪府堺市
⑫	も ず こふんぐん 百舌鳥古墳群	国指定史跡	東西南北約 4 キロメートルの範囲に広がる古墳群で、古市古墳群と並んで独特な古墳文化を築き日本最大の仁徳天皇陵古墳をはじめとする 44 基の古墳が残っている。竹内街道は大小路を起点として、仁徳天皇陵古墳の北側を真っ直ぐ東西に伸びる。	大阪府堺市
⑬	さかいかんごう と し い せ き 堺 環濠都市遺跡	未指定	中世に栄えた環濠を持った自治都市・貿易都市の遺跡。大阪夏の陣で焼失したが、その後再建され、江戸時代の街並みを残している。竹内街道は堺の北の荘と南の荘の境を分けるように大小路口から開口神社の南を通して東に向かう。	大阪府堺市
⑭	やまぐちけじゅうたく 山口家住宅	国指定重要文化財	堺が大阪夏の陣で焼失した直後に建てられた、国内でも珍しい江戸初期の住宅。当時の町家や暮らしぶりを知ることができます。	大阪府堺市
⑮	さかいうちほもの 堺 打刃物	未指定	古来から伝わる鍛鉄の技術が刀鍛冶や鉄砲の生産にひきつがれ、堺が自治都市として繁栄する一つの要因となる。江戸時代に入るとその技術から、出刃包丁をはじめとした包丁の開発につながった。	大阪府堺市

⑯	しんぶくじいせき おおい いせき 真福寺遺跡・太井遺跡・ あまべ ひ きしょういせき 余部日置 荘 遺跡	未指定	優れた鑄造技術をもつ「河内鑄物師」よばれた集団の活動拠点として奈良時代から中世にかけての集落跡・城館跡で、溶解炉・るつぼ・鑄羽口(ふいごはぐち)・鑄型片(いがたへん)をはじめ鑄物を鑄造したと考えられる土壙(どこう)等、鑄造関連の遺構・遺物がみついている。これらの遺跡は、竹内街道の南側、下高野街道と中高野街道上にあり交通の衝にあたる。	大阪府堺市
⑰	おか いせき たんなん いせき 岡遺跡・丹南遺跡	未指定	かつて「河内鑄物師(かわちいもじ)」の工房が多数存在した地域で、日本の金属製品生産の一大拠点であった。竹内街道と中高野街道の交差点であり、茶屋筋ともよばれた。	大阪府松原市
⑱	しばがきじんじゃ 柴籬神社	未指定	長尾街道と竹内街道のほぼ中央に位置する神社。美しい歯並びで、「端齒別尊(みずはわけのみこと)」とも呼ばれていた反正天皇を祀る。	大阪府松原市
⑲	やちゅうじ 野中寺	国指定史跡	竹内街道が羽曳野市野々上の集落に入り、街道から 340m 北に飛鳥時代から白鳳時代にかけて創建された野中寺がある。聖徳太子の命で蘇我馬子が建てたと伝えられ、「中の太子」と呼ばれている。白鳳期を代表する弥勒菩薩半跏思惟像が境内には残る。	大阪府羽曳野市
⑳	さいりんじ 西琳寺	未指定	竹内街道と東高野街道が交差する蓑の辻から東に進むと道は鍵形に屈曲する。この北側に白鳳時代に創建された西琳寺がある。渡来系氏族の西文氏(かわちのふみうじ)によって建立された寺院で、巨大な礎石や屋根を飾った装飾豊かな鴟尾(しび)も出土しており、当時、絢爛豪華な寺院であったことが伺える。	大阪府羽曳野市

②①	こんだほちまんぐう 誉田八幡宮	国宝（塵地螺鈿金銅装神輿金銅透彫鞍金具） 国指定重要文化財（紙本著色神功皇后縁起 2 巻・絹本著色誉田宗廟縁起 3 巻・舞楽面 11 面・松皮菱螺鈿鏡鞍・劔 銘真守・太刀 銘則国・薙刀 無銘大和物・鉄蛭巻薙刀拵・伏見天皇宸翰後撰和歌集 巻第廿）	欽明（きんめい）天皇の頃、勅命で応神陵の前に創建されたと伝えられる八幡宮。拝観庫には源頼朝の寄進と伝えられる神輿をはじめ、数々の国宝・重要文化財が収められている。	大阪府羽曳野市
②②	ふるいちこふんぐん 古市古墳群	国指定史跡	東西 4.0km、南北 4.0km の範囲に広がる百舌鳥古墳群と並ぶ日本を代表する古墳群。全国第 2 位の大きさを持つ応神天皇陵古墳をはじめとする 45 基の古墳が現存する。白鳥陵古墳の北側を通る竹内街道の道筋からは、広い濠の水面に前方後円墳の美しい姿を見ることができる。	大阪府羽曳野市
②③	つきよみばし あすかがわ か ひ 月読橋・飛鳥川の歌碑	未指定	竹内街道と飛鳥川が交わるところに架かる橋。その 50m ほど上流にある石碑には柿本人麻呂(かきのもと)の歌、「あすか河 もみじ葉ながる 葛城の 山の秋風吹きぞしぬらし」が刻まれる。	大阪府羽曳野市
②④	おののいもこほ 小野妹子墓	未指定	竹内街道から太子町山田の餅屋橋で飛鳥川を渡って南に下ると、日本で初めて遣隋使として隋に派遣された小野妹子の墓にでる。科長神社の南側の小高い丘の上の塚が小野妹子の墓と伝えられる。	大阪府南河内郡太子町

②⑤	しながたにこふんぐん 磯長谷古墳群	未指定	太子町に入り春日の集落を越えて、道の南側には敏達、用明、推古天皇と聖徳太子が、道沿いの北側には孝徳天皇が祀られた5基の古墳があり、5弁の梅の花になぞらえて「梅鉢御陵」と言われる。国史跡二子塚古墳など30基の古墳からなる古墳群で、古墳時代の終わりから飛鳥時代に造営された。	大阪府南河内郡太子町
②⑥	えいふくじ 叡福寺	国指定重要文化財(聖霊殿、多宝塔) 府指定有形文化財(叡福寺金堂、鐘楼、叡福寺石塔五輪塔) 府指定史跡(境内)	竹内街道を東に進み太子町に入り、春日の集落を越えると南側に上の太子と称された叡福寺がある。聖徳太子御廟を守護するために、推古天皇によって建立され、奈良時代には聖武天皇が大伽藍を整備したと伝えられている。聖徳太子信仰の霊場として発展した。	大阪府南河内郡太子町
②⑦	いわや 岩屋	国指定史跡	大阪と奈良との府県境にある二上山を越える岩屋越え沿いにある。奈良時代に造られた大小二基の石窟からなる石窟寺院で、鹿谷寺跡とともに、我が国唯一の「大陸風」石窟寺院であるが、文献記録もなく誰が作ったのかもわからない、謎の多い寺跡である。	大阪府南河内郡太子町
②⑧	ろくたんじあと 鹿谷寺跡	国指定史跡	岩屋同様、大阪と奈良との府県境にある二上山を越える岩屋越え沿いにあり、奈良時代に二上山麓の岩盤を掘り込んで造られた日本では珍しい「大陸風」の石窟寺院である。寺跡中心には十三重の石塔と岩窟に彫りこまれた線刻の三尊仏坐像が残っている。	大阪府南河内郡太子町
②⑨	だいどうきゅうやまもとけじゅうたく 大道旧山本家住宅	国登録有形文化財	竹内街道沿いの太子町山田餅屋橋のたもとにある民家で、この地域特有の大和棟の形態をよく残し、街道の面影を伝える住宅である。	大阪府南河内郡太子町
③⑩	たけのうちとうげ 竹内峠	未指定	江戸時代、「お陰参り」の道として人々が竹内峠を往来した。1876年の堺県による奈良県併合を機に峠の改修工事が行われ、南大阪と大和を結ぶ重要な道として整備された。	大阪府南河内郡太子町、 奈良県葛城市

③①	ながおじんじゃ 長尾神社	未指定	竹内街道の始発・終着点となる神社であり、横大路の西端に位置する。東に向かえば横大路、伊勢街道、西に向かえば竹内街道、長尾街道、南に向かえば高野街道と複数の歴史街道が交わり、交通の要であったことから、古くから旅の安全を祈願する旅人に信仰された。また大和に住んでいた巨大な大蛇の頭が三輪明神、尾は長尾神社と伝えられている。	奈良県葛城市
③②	たいまでら 當麻寺	国宝国指定重要文化財国指定史跡・名勝 県指定有形文化財	竹内街道の北に位置し、681年當麻国見により現在地に建立されたと伝わる。奈良時代、當麻曼荼羅が中将姫によって一夜にして織り成されたと伝わる、中将姫伝説ゆかりの地。中将姫の命日とされる5月14日の聖衆来迎練供養会式（當麻寺練供養）は、2017年で1013回目を迎える。また、真言宗と浄土宗の両宗派の塔頭が集まった全国的に珍しい寺院である。	奈良県葛城市
③③	せっこうじ 石光寺	県指定有形文化財（石造如来坐像）	竹内街道の北に位置し、白鳳期の石造如来坐像、塙仏、古瓦、礎石等が出土し、創建は飛鳥時代後期と考えられている。昔この地に夜ごと光る石があり、それを刻み弥勒三尊仏とし御堂が建立されたことから石光寺と名付く。奈良時代、中将姫が當麻曼荼羅を織る蓮糸を、この寺の井戸の水に浸すと、五色に染まると伝わる。中将姫伝説ゆかりの地。	奈良県葛城市
③④	おくだはすとりぎょうじ 奥田蓮取り行事	県指定無形民俗文化財	毎年7月7日の七夕の日に奥田の捨篠池において「蓮取り行事」が行われる。室町時代から庶民信仰のひとつで、「蓮華会(れんげえ)」の一連の行事である。修験者によって道中の祠に献花されながら吉野山金峯山寺・蔵王堂での「蓮華会」「蛙飛び行事」に参加し、そのあと大峰山頂上までの祠に供えられる。	奈良県大和高田市

③⑤	せんりゅうじ じないちょう 専立寺・寺内町	市指定文化財 (太鼓楼・表門・築地堀)	1600年の創建で「高田御坊」ともいわれる。横大路の北側に隣接し、専立寺を中心に寺内町が発展し、今日の商いのまちの礎が築かれた。江戸・明治・大正・昭和の町並みを見ることができる歴史地区。	奈良県大和高田市
③⑥	たいじんぐう たかとうろう 太神宮の高燈籠	未指定	大和平野を東西に貫く横大路を東から高田に入る位置に建つ高燈籠。往時、伊勢大神宮をめざす「御陰参り」などの、旅の道しるべとして明かりが灯された。	奈良県大和高田市
③⑦	やぎのふだ つじ 八木札の辻	市指定文化財 (東の平田家)	「下ツ道」と「横大路」の交差点が「八木札の辻」で、古代からの交通の要衝。近世・江戸時代には伊勢参りや大峯への参詣巡礼などで賑わう。	奈良県橿原市
③⑧	おおみわじんじゃ 大神神社	国指定史跡 (境内)国指定重要文化財 (拝殿・三ツ鳥居)県指定有形文化財(勅使殿・勤番所)	三輪山の西麓に鎮座する。本殿を設けず、三ツ鳥居を通してご神体である三輪山を拝するという、古代の神社形態を今に伝えている。その祭祀のはじまりは崇神天皇の時代に遡るとされ、我が国最古の神社と呼ばれている。	奈良県桜井市
③⑨	みわじんしゃ 三輪神社	未指定	横大路と中ツ道との交差部に鎮座する神社。境内に礎石が存在し、江戸時代は「おかげ参り」の目印であった大きなケヤキの古木が鳥居脇に建っていた。	奈良県桜井市
④⑩	りゅうおうぐう 龍王宮	未指定	竹内街道の南側に位置する龍王宮は、石園坐多久虫玉神社(いそのにますたくむしたまじんじゃ)といい、崇神天皇の時代に勅祭が行われたと伝わる延喜式内社。本社は安寧天皇の片塩浮孔宮跡と伝わり、付近からは土器・木棺・埴輪・七鈴鏡などが多数発掘されている。	奈良県大和高田市
④⑪	はせほんじ 長谷本寺	県指定文化財 (長谷寺型十一面観音菩薩像)	8世紀初頭の創建の寺院。横大路に面し、傍には道標が残る。本尊の十一面観音菩薩像は、桜井市の長谷寺本尊の十一面観音菩薩像と同木で刻まれたと伝わる。	奈良県大和高田市

④②	ふどういん だいにちどう 不動院 (大日堂)	国指定重要文化財	横大路の北側に位置し、聖徳太子の創建と言われ、 1483 年、高田城主当麻為長が本堂を建立し、本尊の大日如来像は鎌倉時代に造られた。	奈良県大和高田市
④③	いまいちょう 今井町	重要伝統的建造物群保存地区	今井町は、戦国時代末期に一向宗道場の寺内町として成立。織田信長に降伏し、自治権を認められると「大和の金は今井に七分」といわれるほど栄え、「海の堺、陸の今井」と称された。今も約 500 棟の伝統的建造物が残る。	奈良県橿原市
④④	だいじんぐうとうろう 太神宮灯籠	未指定	江戸時代、伊勢神宮への「おかげ参り」の道標として、横大路沿いに建てられた。この灯籠は、当時、参詣者へのもてなし（おかげ）がされた「接待場」から 200m 西へ移築したもの。	奈良県橿原市
④⑤	あべもんじゆいん 安倍文殊院	県指定有形文化財(庫裏) 市指定文化財(本堂)	古代の有力氏族である安倍氏が建立した安倍寺から続く寺院であり、中世に現在の位置に移転したとされる。日本三文殊の一つで、山田道の傍に位置する。本尊の文殊菩薩像は快慶作で、国宝に指定されている。	奈良県桜井市
④⑥	はちまんじんじゃ 八幡神社	未指定	横大路と上ツ道の交差点付近に位置する神社。境内には、江戸時代に奉獻された石造狛犬や石燈籠などがある。	奈良県桜井市
④⑦	つちぶたい 土舞台	未指定	『日本書紀』推古紀に、百済人味摩之が桜井の地にて少年を集め、伎楽舞を習わしめたという記述がある。桜井市大字谷の土舞台はその伝習の地として顕彰され、「日本芸能発祥の地」とも言われている。	奈良県桜井市
④⑧	こうげんじ 向原寺 とゆらのみや・とゆらでらあと (豊浦宮・豊浦寺跡)	未指定	山田道の南側に位置する。起源は 6 世紀の仏教伝来の頃までさかのぼり、『日本書紀』によると 552 年に百済の聖明王が初めて我が国に仏像、仏典をもたらしたとき、蘇我稲目が仏像を譲り受け、向原の家を浄めて寺にしたとされる。	奈良県高市郡明日香村

④9	いかづちのおかとうほういせき 雷 丘東方遺跡	未指定	推古天皇は自身が即位した豊浦宮から山田道沿いの小墾田宮（雷丘東方遺跡）に遷宮し、聖徳太子、蘇我氏らとともに、冠位十二階や十七条憲法の制定、遣隋使の派遣などの重要政策をおこなった。	奈良県高市郡 明日香村
⑤0	やまだでらあと 山田寺跡	国指定特別史跡	乙巳の変(大化の改新)の功臣蘇我倉山田石川麻呂によって発願された古代寺院。発掘調査により、7世紀に創建された寺院のほぼ全容が明らかとなっている。なかでも倒壊した状態で出土した回廊は、わが国最古の木造建築様式を示すものとして注目されている。	奈良県桜井市
⑤1	あまかしのおか 甘 檜 丘	未指定	山田道の南に位置し、古くは盟神探湯の神事が行われた場として伝わる。大化の改新以前は蘇我蝦夷・入鹿親子が権勢を示すために邸宅が営まれていた場所であったと言われ、頂上から大和三山や藤原京を一望することができる。	奈良県高市郡 明日香村
⑤2	かんのみ おふさ観音	未指定	下ツ道沿いに位置し、正式名を高野山真言宗別格本山観音寺とう。本尊の十一面観音で、近年老人病封じを願う人々が多く訪れるようになっている。	奈良県橿原市
⑤3	もとやくしじあと 本薬師寺跡	国指定特別史跡	下ツ道の東に位置し、奈良・西の京にある薬師寺の前身にあたる寺で、天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願して、680年に建立に着手。皇后・持統天皇がその遺志を継いで完成させた。	奈良県橿原市
⑤4	ふじわらきゅうせき 藤原宮跡	国指定特別史跡	約 1300 年前、持統・文武・元明の三代の天皇が治めた都の藤原京にあった宮で、日本で初めて造られた瓦葺の宮殿。内部には政治の中核となる施設のほか、天皇や皇后の住まいである内裏、行政の実務をおこなう官衙がおかれた。	奈良県橿原市
⑤5	たちばなでら 橘 寺	国指定史跡	中ツ道の西側に位置する聖徳太子誕生の地で、太子が用明天皇の別宮を寺に改めたといわれる。聖徳太子建立七大寺のひとつ。皇族・貴族の庇護を受け栄えた。	奈良県高市郡 明日香村

⑤6	かぐやま 香具山	国指定名勝	中ツ道の東に位置し、古代から「天」という尊称が付くほど神聖視され、万葉集にも数多く歌われた大和三山の一つ。	奈良県橿原市
⑤7	あすかでら 飛鳥寺	国指定史跡	中ツ道の東に位置し、588年蘇我馬子が建てたと伝わる日本最古の仏教寺院。大化の改新の主役、中大兄皇子と中臣鎌足が知り合ったのも飛鳥の蹴鞠（けまり）の会であったといわれている。	奈良県高市郡 明日香村

(※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財の写真一覧

① 難波宮跡



④ 竹内街道



② 四天王寺



⑤ 横大路



③ 難波京朱雀大路・難波大道



⑥ 下ツ道



⑦ 中ツ道



⑩ 開口神社



⑧ 上ツ道



⑪ 金岡神社



⑨ 山田道



⑫ 百舌鳥古墳群(仁徳天皇陵古墳)



⑬ 堺環濠都市遺跡



⑮ 堺打刃物



⑭ 山口家住宅



⑯ 真福寺遺跡・太井遺跡・余部日置荘遺跡



⑭ 山口家住宅



⑯ 真福寺遺跡・太井遺跡・余部日置荘遺跡
(太井遺跡)



①⑦ 岡遺跡・丹南遺跡



①⑨ 野中寺



①⑧ 柴籬神社



①⑨ 野中寺



①⑧ 柴籬神社(歯神さん)



②⑩ 西琳寺



②① 誉田八幡宮



②④ 小野妹子墓



②② 古市古墳群(白鳥陵古墳)



②⑤ 磯長谷古墳群(推古天皇陵)



②③ 月読橋・飛鳥川の歌碑



②⑥ 叡福寺(聖徳太子御廟)



②6 叡福寺(多宝塔)



②9 大道旧山本家住宅



②7 岩屋



②9 大道旧山本家住宅



②8 鹿谷寺跡



③0 竹内峠



③① 長尾神社



③④ 奥田蓮取り行事



③② 當麻寺



③⑤ 専立寺・寺内町



③③ 石光寺



③⑥ 太神宮の高燈籠



③⑦ 八木札の辻



④⑩ 龍王宮



③⑧ 大神神社



④⑪ 長谷本寺



③⑨ 三輪神社



④⑫ 不動院 (大日堂)



④3 今井町



④6 八幡神社



④4 太神宮灯籠



④7 土舞台



④5 安倍文殊院



④8 向原寺 (豊浦宮・豊浦寺跡)



④⑧ 向原寺（豊浦宮・豊浦寺跡）



⑤① 甘檜丘



④⑨ 雷丘東方遺跡



⑤① 甘檜丘



⑤⑩ 山田寺跡



⑤② おふさ観音



⑤③ 本薬師寺跡



⑤④ 藤原宮跡



⑤③ 本薬師寺跡



⑤④ 藤原宮跡



⑤④ 藤原宮跡



⑤⑤ 橘寺



(様式3-2)

⑤6 香久山



⑤7 飛鳥寺



日本遺産を通じた地域活性化計画

(1) 日本遺産のタイトル	1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路（大道）～
(2) 将来像（ビジョン）	
街道とその周辺で継承された「遺跡」や「祭事・神事」、そして守られ育まれた「季節ごとに彩られる風景」や「職人の技」などの地域資源が地域住民の誇りとなり、次世代へつなげていく環境をつくる。さらに、それら地域資源を活用し、12の自治体が、それらの魅力を連携してつなぎ、重層的な歴史や自然、伝統を五感で楽しめる空間や観光ルートを創出することにより、街道全体に人の流れを作り出し、人々が行き交いふれあいが生まれる、賑わいあふれる地域とする。	
(2) 地域活性化のための取組の概要	
■ 将来像を実現するための取組 (1) 地域のエリアブランドを構築し、国内外に向けて地域の魅力を発信する。 竹内街道・横大路(大道)は日本最古の国道として整備されたことにより、街道やその周辺地域には、数多くの古代の古墳群や中世の趣のある町並みなど、各時代の魅力を色濃く残す地域である。それらの優れた資源を各地域の取組と連携を図り、文化財や食事、体験などの現地で楽しめる新たな観光ルートを創出し、地域のエリアブランドを構築するとともに、ホームページの多言語化や魅力を伝えるコンテンツ作成などの取組を行うことにより、更なる魅力や観光客の利便性を向上させるとともに、情報発信力を強化する。 (2) 遺跡や施設周辺の整備を進め、観光スポットの魅力を創出する。 街道周辺には、遺跡や趣のある町並み、歴史的建造物・祭事、四季ごとの風景などの見どころが数多くある。それらをレンタサイクルの環境整備やウォーキングイベントなどでつなぐとともに、現地での楽しみとなるスマートフォンアプリなどのコンテンツの作成、古民家活用などを実施することにより、集客力を向上させ、地域の活性化を図る。 (3) 民間主導による地域活性化を推進する。 日本遺産を通じて、協力団体の参画を活発にするとともに、地域おこし・まちづくりのリーダーや市町村を越えた広域観光ガイドの育成により、地域全体の活性化を図る。 (4) 地域の伝統産業の振興と、それを活かした観光振興を行う。 街道周辺で受け継がれてきた伝統産業や庶民文化などを、地域を越えて繋ぐことにより、体験できる観光ルートとして、観光産業の展開を図るとともに、次世代へつなげる環境整備を進める。 (5) 地域の魅力掘り起こしと、歴史環境の再生を行う。 埋もれている地域の魅力を掘り起こし、更なる魅力の向上を図るとともに、地域の文化財について、地元参画の勉強会などにより地域資源への愛着の向上を図る。	
(3) 自立的・継続的な取組	
本実行委員会は、現在、各自治体からの負担金及び6団体の民間企業や大学からの協賛・協力により、地域活性化の推進や地域への愛着や誇りを醸成するための取組を行っている。 日本遺産に関する取組を継続的に行うため、補助事業の取組などを通じて、参画をいただく協力団体の更なる確保を行い、活動を継続していく。	

(４) 実施体制				
■協議会の名称：竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 【構成団体】 《自治体》 大阪市(建設局 総務部 企画課、教育委員会事務局 総務部 文化財保護課、経済戦略局 観光部 観光課) 堺市(建設局 土木部 土木監理課、文化観光局 文化部 文化財課、文化観光局 観光部 観光推進課) 松原市(都市整備部 みち・みどり整備室、市民生活部 観光課、教育委員会事務局教育総務部 文化財課) 羽曳野市(市長公室 政策推進課、教育委員会事務局 文化財保護課、生活環境部 観光課) 太子町(総務部 総務政策課、まちづくり推進部 にぎわいまちづくり課、教育委員会事務局 生涯学習課) 葛城市(産業観光部 商工観光課、教育委員会 歴史博物館) 大和高田市(市民部 産業振興課、教育委員会事務局 生涯学習課) 橿原市(魅力創造部 観光政策課、まちづくり部 道路河川課、教育委員会事務局 文化財課、今井町並保存整備事務所) 桜井市(まちづくり部 観光まちづくり課、教育委員会事務局 文化財課) 明日香村(産業づくり課、教育委員会 文化財課) 大阪府(都市整備部 事業管理室、交通道路室、富田林土木事務所、府民文化部 都市魅力創造局 企画・観光課、教育庁 文化財保護課、環境農林水産部 中部農と緑の総合事務所、住宅まちづくり部 都市空間創造室) 奈良県(観光局 ならの観光力向上課、教育委員会事務局 文化財保存課) 《民間団体》 大阪観光局、堺観光コンベンション協会、羽曳野市観光協会、太子町観光・まちづくり協会、葛城市観光協会、一般社団法人 橿原市観光協会、一般社団法人桜井市観光協会、飛鳥京観光協会 てんのうじ観光ボランティアガイド協議会、NPO法人 大阪観光ボランティアガイド協会、NPO法人 堺観光ボランティア協会、まつばらまちの案内人、NPO法人 フィールドミュージアムトーク史遊会、観光ボランティア【太子街人の会】、葛城市観光ボランティアガイドの会、橿原市ボランティアガイドの会、桜井市観光ボランティアガイドの会 大阪芸術大学、大阪産業大学 ■推進体制の整備 将来像を実現するための取組を実施するため、平成24年度より本街道沿道自治体(1府1県10市町村)で組織している「竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会」内に、日本遺産を通じた地域活性化を目的とした「竹内街道・横大路(大道)日本遺産推進部会(仮)」を組織し、大阪府都市整備部が総合プロデュースして、取組を進める。 また、文化庁の日本遺産プロデューサー派遣事業の活用をはじめ、地域活性化の実績者や有知識者などの参画により、取組を進める。				
(５) 地域活性化計画における目標と期待される効果			定量的評価：	別紙①のとおり
期待される効果		住民の地域の文化に対する関心や愛着が向上し、住民による文化財の保存が図られ、次世代への継承が期待できる。また、日本遺産の取組により、文化財をはじめとした地域資源をつないだ観光ルートをつくることで、観光客の増加が期待されるほか、街道を通じた人の流れが活発になり、府県間を越えた賑わいの創出が期待できる。		
(６) 日本遺産魅力発信推進事業			別紙②のとおり	
補助金額：	平成29年度：	35,441千円	平成30年度：	23,275千円
			平成31年度：	0千円
(７) その他事業			別紙③のとおり	

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化					
計画評価指標：	観光客入込み数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	構成文化財や周辺の観光案内所などへの来訪者数					
目標値：	平成 28 年度	160,000 人	⇒	平成 34 年度	200,000 人	
設定根拠：	平成27年度伸び率0.05%に対して、毎年約4.2%の伸び率を設定					
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	160,000	160,000	170,000	180,000	190,000	200,000
実績値	158,800					
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化					
計画評価指標：	地域の文化に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」割合					
目標値：	平成 29 年度	100 %	⇒	平成 34 年度	130 %	
設定根拠：	平成29年度に行うアンケート調査結果より30%の増加を目指す					
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	100	100	110	120	130
実績値	100					
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化					
計画評価指標：	小・中学生における日本遺産の認知度 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	小・中学生における日本遺産の認知度					
目標値：	平成 29 年度	100 %	⇒	平成 34 年度	300 %	
設定根拠：	平成29年度に行うアンケート調査結果より3倍の増加を目指す					
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	100	150	200	250	300
実績値	100					
設定目標Ⅲ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立					
計画評価指標：	日本遺産への協力団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	日本遺産に関する取組への協力団体数					
目標値：	平成 28 年度	6 団体	⇒	平成 34 年度	18 団体	
設定根拠：	平成28年度の協力団体数に対して、3倍の18団体を設定					
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	6	6	9	12	15	18
実績値	6					

(6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①:	日本遺産紹介HP(多言語化を含む)の作成					
事業区分:	情報発信			事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度	
補助金額:	平成29年度:	2,570千円	平成30年度:	2,754千円	平成31年度:	
(積算)	1式		1式			
事業概要:	日本遺産HPの作成及び多言語化を行い、情報発信機能の強化を行う。					
評価指標区分:	ホームページ閲覧数 (PV数)				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標:	HPのアクセス数					
目標値:	平成 28 年度		100 %	⇒	平成 34 年度	
					200 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	120	140	160	180	200
実績値	100					
事業②:	紹介資料(記事・映像)の作成・放映					
事業区分:	情報発信			事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度	
補助金額:	平成29年度:	5,745千円	平成30年度:	0千円	平成31年度:	
(積算)	1式		1式		1式	
事業概要:	日本遺産のストーリーや構成文化財をはじめとした街道及び沿道周辺の魅力をPRする動画やVR、イメージソングを作成・発信し、コンテンツ情報発信力強化事業を実施することにより、認知度向上、観光客の増加を図る。					
評価指標区分:	コンテンツダウンロード数(掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等)				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標:	コンテンツ再生回数					
目標値:	平成 30 年度		100 %	⇒	平成 34 年度	
					200 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	—	100	120	150	180	200
実績値	—					
事業③:	パンフレット等の作成					
事業区分:	情報発信			事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度	
補助金額:	平成29年度:	0千円	平成30年度:	4,937千円	平成31年度:	
(積算)			1式			
事業概要:	街道及び沿道地域の魅力的な遺跡・食・景観等のおすすめルートを設定した多言語対応のマップ(広域マップ及びルート別マップなど)を作成し、観光機能の強化を図る。また、マップはHP等で公開する。					
評価指標区分:	補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数(自主事業分)				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標:	補助事業終了後のマップの増刷数					
目標値:	平成 32 年度		3,000 冊	⇒	平成 34 年度	
					12,000 冊	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	—	—	—	3,000	12,000	—
実績値	—					

事業④：		写真・映像等の基礎資料の作成				
事業区分：	情報発信			事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額：	平成29年度：0千円		平成30年度：0千円		平成31年度：10,000千円	
(積算)			1式			
事業概要：	スマートフォンなどを活用した音声ガイドやARにより、日本遺産のストーリーや構成文化財の紹介を行うことにより、観光客の日本遺産への理解や文化財をはじめとした地域資源への関心を深めるとともに、現地での楽しみを創出することにより、観光機能の強化を図る。					
評価指標区分：	その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	コンテンツへのアクセス数					
目標値：	平成 31 年度		100 %		⇒ 平成 34 年度 160 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	－	－	100	100	130	160
実績値	－					
事業⑤：		ガイドの育成				
事業区分：	人材育成			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額：	平成29年度：3,514千円		平成30年度：1,692千円		平成31年度：3,000千円	
(積算)	一式		一式		一式	
事業概要：	日本遺産や構成文化財を中心としたガイドの育成を行い、観光客の日本遺産への理解や文化財をはじめとした地域資源への関心を深めるとともに、現地での楽しみを創出することにより、観光機能の強化を図る。					
評価指標区分：	ガイド利用者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	観光客のガイド利用者数					
目標値：	平成 29 年度		100 %		⇒ 平成 34 年度 120 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	103	106	110	115	120
実績値	100					
事業⑥：		日本遺産に関するシンポジウムの実施				
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度	
補助金額：	平成29年度：0千円		平成30年度：5,400千円		平成31年度：0千円	
(積算)			1式			
事業概要：	日本遺産や構成文化財、それらを活用した地域活性についてのシンポジウムを行い、日本遺産への理解や文化財をはじめとした地域資源への関心を深める。					
評価指標区分：	日本遺産の認知度			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	アンケートによる日本遺産の認知度					
目標値：	平成 29 年度		100 %		⇒ 平成 34 年度 200 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	120	140	160	180	200
実績値	100					
事業⑦：		日本遺産への来訪者を増やすためのモニターツアーの実施				
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額：	平成29年度：0千円		平成30年度：0千円		平成31年度：3,500千円	
(積算)			1式			
事業概要：	日本遺産のストーリーや構成文化財を中心とする新たな観光ルートの設定を目的としたモニターツアーを行い、参加者へのアンケート等により、質の高い観光ルートを創出する。					
評価指標区分：	その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	モニターツアー実施後に、新たに日本遺産に関するツアーへの参加者数					
目標値：	平成 29 年度		100 %		⇒ 平成 34 年度 150 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	－	－	100	120	140	150
実績値	－					

事業⑧：	日本遺産を理解するためのイベントの実施					
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額： (積算)	平成29年度：	0千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	5,000千円
					1式	
事業概要：	日本遺産のストーリーや構成文化財をめぐる、ウォーキングイベントやサイクリングイベントを実施し、日本遺産への理解や文化財をはじめとした地域資源への関心を深める。					
評価指標区分：	日本遺産の認知度				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	アンケートによる日本遺産の認知度					
目標値：	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 34 年度 200 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	100	140	160	180	200
実績値	100					
事業⑨：	日本遺産を理解するための子供向けコンテンツの作成					
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額： (積算)	平成29年度：	0千円	平成30年度：	1,582千円	平成31年度：	0千円
				1式	1式	
事業概要：	地域の小・中学生が日本遺産を理解しやすい読本などの子供向けコンテンツを作成し、日本遺産への理解や地域に対しての愛着を深める。					
評価指標区分：	その他				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	小・中学生における日本遺産の認知度					
目標値：	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 34 年度 300 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	100	150	200	250	300
実績値	-					
事業⑩：	嗜好性調査					
事業区分：	調査研究			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度	
補助金額： (積算)	平成29年度：	12,068千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	0千円
		1式				
事業概要：	日本遺産のストーリーや構成文化財をはじめとした地域資源への観光客ターゲット層や求められるおもてなしを調査し、調査結果に基づいたコンテンツの開発・強化により、観光客数の向上を図る。					
評価指標区分：	調査対象文化財への観光客数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	調査対象文化財への観光客数					
目標値：	平成 28 年度		100 %	⇒	平成 34 年度 106 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	101	102	104	105	106
実績値	100					
事業⑪：	案内板・説明板の設置					
事業区分：	公開活用のための整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額： (積算)	平成29年度：	13,040千円	平成30年度：	5,631千円	平成31年度：	5,000千円
事業概要：	本街道に共通デザインの案内板や説明板、路面標示を設置し、観光客の利便性の向上を図るとともに、日本遺産の認知度を向上させる。					
評価指標区分：	観光客の満足度				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	アンケートによる観光客満足度					
目標値：	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 34 年度 150 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	110	120	130	140	150
実績値	100					

事業⑫：	便益施設等の設置					
事業区分：	公開活用のための整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度	
補助金額：	平成29年度：	0千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	5,000千円
(積算)					1式	
事業概要：	レンタサイクルの環境整備や街道をはじめとした構成文化財等の案内所、交流館等の改修により、観光客の利便性向上を図る。					
評価指標区分：	観光客の満足度				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	アンケートによる観光客満足度					
目標値：	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 34 年度 150 %	
年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
目標値	100	110	120	130	140	150
実績値	100					

(7) その他事業

事業①：	竹内街道・横大路(大道)まつり			
機関・団体：	自主事業	： 実行委員会	事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	実行委員会の全自治体が一堂に会し、街道や地域の魅力をPRし、地域活性化を図るイベント。			
事業②：	デジタルフォトコンテスト			
機関・団体：	自主事業	： 実行委員会	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	本街道周辺の魅力あふれる風景を写真に収めるコンテスト。 応募チラシや賞品は、企業協賛により実施。			
事業③：	デジタルフォトコンテスト入選作品のリレー展示			
機関・団体：	市町村	： 実行委員会 構成自治体	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	事業②のデジタルフォトコンテストの入選作品を、1年をかけて構成自治体においてリレー展示する。街道周辺の魅力をPRできるほか、応募者のモチベーションにもなる。			
事業④：	竹内街道“はびきの“のタベ			
機関・団体：	自主事業	： 羽曳野市	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	街道の風情あるたたずまいを守り継ぐため、周辺地域の魅力の再発見と活性化につながる取り組みとして実施するイベント。			
事業⑤：	竹内街道灯路祭り			
機関・団体：	民間団体	： 竹内街道 にぎわいづくり協議会	事業期間：	平成 21 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	街道を灯ろうで浮かび上がらせるほか、時代行列や古民家でのコンサート・軒下ギャラリーなど、楽しいイベントが盛りだくさんの地域住民手づくりのイベント。			
事業⑥：	竹内街道・横大路(大道)PRグッズ作成			
機関・団体：	自主事業	： 実行委員会	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	本街道の認知度向上のためのグッズを作成し、各イベントなどで活用。			
事業⑦：	歴史的環境再生に向けた勉強会			
機関・団体：	自主事業	： 実行委員会	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	近隣の学生や地元住民、自治体による街道や文化財をはじめとした地域資源を活用したまちづくりについての勉強会。			
事業⑧：	難波宮跡公園の整備事業			
機関・団体：	市町村	： 大阪市	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 32 年度
事業概要：	難波宮跡公園を市民に快適で歴史体験のできる公園として整備。 (社会資本整備総合交付金を活用)			
事業⑨：	ゆめフェスタ in 葛城			
機関・団体：	民間団体	： 葛城市	事業期間：	平成 22 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	地元の新鮮な食材を用いたお店が當麻寺境内及び参道に並びます。また、ステージイベントもあり、秋の祭典を華やげます。			
事業⑩：	葛城発信アートFAIR			
機関・団体：	民間団体	： 葛城市	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 29 年度
事業概要：	葛城市の文化遺産・展示施設に一般公募の芸術作品を展示し、葛城市を美術館化する市民主導の斬新なアートイベントです。			
事業⑪：	ノルディックで歩く街道いまわかし			
機関・団体：	市町村	： 葛城市 大和高田市（共催）	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 34 年度
事業概要：	竹内街道敷設1400年を記念して始まったウォークイベント。 竹内街道・横大路を実際に歩いていただくことにより、沿道の魅力を感じてもらう。 大和高田市大中公園を出発し、竹内街道・横大路を通り、當麻寺に至る約5kmの道のりをノルディックポールを使って歩きます。			